

平成29年度 長与北小学校 学校関係者評価(年間)

①児童・保護者・地域アンケート実施期間 (前期) 平成29年7月14日～20日 (後期) 平成29年12月12日～19日

②学校評価(自己評価)実施期間 (前期) 平成29年8月21日～9月4日 (後期) 平成30年1月22日～1月26日

<評価規準> 4 そう思う(100%-90%) 3 だいたいそう思う(89%-75%) 2 あまりそう思わない(74%-50%) 1 そう思わない(49%-0%)

項目	重点目標	児童			保護者			地域			自己評価			自己評価についての説明	学校関係者評価による意見等
		後期	前期	昨年	後期	前期	昨年	後期	前期	昨年	後期	前期	昨年		
か こ い 頭 を	1 確かな学力を身につけた子どもを育てる。														
	①子どもは、自分の考えを表現できている。	3.2	2.9	3.0	3.0	3.0	3.1	3.3	3.0	3.2	2.6	2.7	3.4	算数科を中心に書く活動と話す活動を重視した学習展開を行ってきたが、各種学力検査の結果では学習内容の定着が十分でなかった。この結果を踏まえ、自分の考えを書く、補充問題を繰り返し解く学習を仕組んで基礎学力の定着を図っていく。	妥当な評価(3.0) 理由 ・授業中は自分の考えをまとめたり発表したりしている。 ・全国学力調査、県学力調査、ながよ検定において昨年(前回)を上回るように引き続き指導をしていくことが必要。
	②子どもは、学習規律が身についている。	2.9	2.9	2.9	3.0	3.0	3.0			3.1	2.9	2.9	3.3		
	2 指導力の向上を図る。														
①子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	3.6	3.5	3.2	2.9	3.0	2.9			3.1	3.1	3.1	3.1	どの学級も毎日家庭学習を課しており、学びの習慣はできている。児童は宿題をしたと満足しているが、教師・保護者はまだ十分と思っていないので、今後は質や正確さを高めていくことが重要と考え、学級通信や学級懇談会の中で説明を行っていく必要がある。	妥当な評価(3.0) 理由 ・毎日の宿題だけでなく自主学習の工夫にも指導を行って欲しい。	
②学校は、掲示教育を充実させ、学習に集中できる環境の整備に努めている。	3.0	2.9	2.7	3.1	3.1	3.2			3.4	2.9	3.1	3.3			
や さ し い 心 を	1 基本的な生活習慣の定着を図る。														
	①子どもは、元気なあいさつをして生活している。	3.7	3.5		3.0	3.0		3.1	2.8		3.0	2.9		○あいさつや安全について児童は十分にできていると思っているが、教師と保護者は十分でないという認識にあり、数値的に大差が見られる。 ○昨年より掃除時間の音楽放送を無くしたり、職員の指示を掃除前に行ったりして静かな雰囲気の中で掃除に取り組んできたが、まだ話し声が聞こえる。もくもく掃除について、引き続き指導の徹底を図っていく。	妥当な評価(3.0) 理由 ・地域での挨拶が十分でない。 ・パトロール隊の巡回や立哨は子供や保護者に安心感をもたせている。 ・帰宅後や土日に外で遊ぶ子供が少なくなっている。自分の身は自分で守る指導も続けて行って欲しい。
	②子どもは、安全に気を付けて生活している。	3.6	3.8		3.2	3.2		3.0	2.8		2.9	2.5			
	③子どもは、後始末や後片付けをして生活している。	3.3	3.3		2.6	2.6		3.1	3.1		2.9	2.8			
	④子どもは、もくもく掃除を行っている。	3.2	3.0	2.9	2.8	2.8	2.9			3.1	3.1	2.7	3.4		

	重点目標	児童			保護者			地域			自己評価			自己評価についての説明	学校関係者評価による意見等
		後期	前期	昨年	後期	前期	昨年	後期	前期	昨年	後期	前期	昨年		
やさしい心を	2 心の教育の充実を図る。														
	①子どもは、道徳の授業で自分自身を見つめなおし、よりよい行動をしようとしている。	3.2	3.1	2.9	3.0	3.0	3.0	3.2	3.0	2.9	2.8	2.9	3.3	○児童の数値が少しずつ上がってきているのは、自らの行為を振り返り、相手を思う行動を意識している現れだと観る。より良い行動を行うためには、普段の生活の中で相手を思うことが大切である。 ○読書への取組は数値としては上がってきているので、更に本に親しむ習慣を育てていく。	妥当な評価(3.0) 理由 ・子供たちの中で規範意識が少しずつ低くなってきていると思われるので良い行いは大いに褒め、良くない行為は改めていく指導を続けて欲しい。
	②子どもは、読書活動に親しんでいる。	3.0	2.9	2.8	2.7	2.7	2.7			3.1	2.8	3.1	3.1		
3 豊かな人間関係づくりを進める。															
やさしい心を	①子どもは、友だちのよいところをたくさん見つけている。	3.2	3.0	3.0	3.1	3.1	3.2	3.3	3.1	2.9	3.0	2.9	3.5	○昨年同様、児童は比較的高い数値であるが、教師・保護者との認識の差が大きい。多くの児童は昼休みには元気に運動場で遊んでいるが、言い争いなどのトラブルについては継続指導を行っていく。 ○学校での出来事を児童は家庭でよく話していることがうかがえる。学年・学級通信を定期的に発行することで今後も話題を提供していきたい。また、悩みや困ったことを家族や教師に話す児童が増えてきていることは良いことだが、誰にも言えずにいる児童もいることを前提に教師・保護者はしっかりと子供と向き合っていくことが大切である。	妥当な評価(3.2) 理由 ・目配りと気配りを続け、隅々まで行き届いた指導の徹底をお願いしたい。 ・学校であったことを子供たちは家庭でよく話しているため、学校と家庭が情報を共有し、子供たちをしっかりと見守り、指導して欲しい。
	②子どもは、友だちのことを大切にしている。	3.6	3.7		3.3	3.4					2.9	2.9			
	③子どもは、学校での出来事をよく話している。	3.4	3.3	3.2	3.2	3.2	3.3			3.1	2.9	3.3	3.4		
	③子どもは、いやなことがあったときには、家族や先生に相談している。	3.2	3.1	2.8	3.1	3.1	3.1			2.6	3.1	3.1	3.4		
	⑤学校は、いじめが生じたときの対策等について知らせている。				2.7	2.8	2.8	3.5	3.2	2.9	3.3	3.1	2.8		
たくましい身体を	1 基礎体力の向上を図る。														
	①子どもは、北小ファイトや体育の授業の中で、体力づくりに励んでいる。	3.5	3.5	3.2	3.4	3.4	3.4	3.7	3.2	3.4	3.6	3.5	3.7	○寒い日も外に出て元気に走るという北小の伝統を今後も児童はがんばって欲しい。 ○立てた目標を達成するために途中の声かけや振り返りを何度も行っていく指導が重要である。	妥当な評価(3.3) 理由 ・冬の寒い日も子供たちは朝から元気に走っている姿に感心する。
	②子どもは、目標に向かって粘り強く取り組んでいる。	3.4	3.4	3.1	3.0	3.0	2.9	3.3	3.0	3.1	2.9	3.1	3.5		
2 健康・安全教育の推進を図る。															
たくましい身体を	①子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についている。	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1	3.0	2.7	2.6	2.7	2.8	2.7	3.0	○今年は寒さが厳しく、朝の行動がやや遅くなってきているが、インフルエンザ等の流行は少なく元気に過ごしている。早寝・早起き・朝ごはんの励行を今後も呼びかけていく必要がある。	妥当な評価(3.1) 理由 ・早寝、早起き、朝ごはんの話は学級懇談会等の中で今後も行っていくことが大切。
	②子どもは、「生活のやくそく」を守って、安全に気をつけて生活している。	3.8	3.8	3.4	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1	3.0	2.8	2.6	3.4		

	重点目標	児童			保護者			地域			自己評価			自己評価についての説明	学校関係者評価による意見等
		後期	前期	昨年	後期	前期	昨年	後期	前期	昨年	後期	前期	昨年		
情報発信と連携	1 広報活動の充実を図る。														
	①学校は、学校・学級だよりによる広報活動の充実を図っている。				3.2	3.2	3.3	3.0	3.6	3.5	3.2	3.1	3.5	○学校・学級通信は定期的に発行されているが、ホームページに関してはなかなか更新されず、学校評価の中でも低い数値となっている。保護者からも更新を願いの声が上がっている。学年での更新を進めていく。	妥当な評価(3.2) 理由 ・学校通信、学級通信は定期的に発行されていたがホームページの更新があまりされていなかった。
	②学校は、ホームページによる広報活動の充実を図っている。				2.9	2.9	3.0	3.7	3.4	3.5	2.7	2.9	2.8		
	2 保護者・地域との連携を進める。														
①学校は、積極的に地域の人や外部講師を取り入れた授業やクラブ活動を行っている。				3.1	3.1	3.2	3.6	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	○総合学習や生活科学学習、社会科学習等では地域の人材を積極的に活用していることが高い評価へと繋がっている。引き続き、地域の力を活用した教育活動の充実を図っていく。	妥当な評価(3.5) 理由 ・地域の「ひと・もの・こと」を積極的に取り入れた北小らしい行事や授業が行われている。来年度も続けて欲しい。	
②学校は、育友会や地域、関係団体との連携を図っている。				3.2	3.2	3.3	3.7	3.6	3.3	3.5	3.2	3.5			
学校運営全般	1 教育環境の整備を図る。														
	①学校は、施設設備の安全と整備の徹底を図っている。	3.6	3.5	3.2	3.0	2.9	2.9	3.6	3.4	3.3	3.3	3.1	3.3	○毎日の校内巡視、毎月の安全点検を確実に、改善箇所は迅速に行っている。学校施設の面では、屋上防水工事、トイレの様式化を進めている。	妥当な評価(3.5) 理由 ・洋式トイレは少しずつ増設されるなど施設の整備が進められているので来年度も改修を行って欲しい。 ・昨年度より正門周辺、中庭の手入れがよくされている。
	②学校は、花いっぱい運動を推進し、校舎内外の環境美化に努めている。	3.8	3.7	3.3	3.3	3.3	3.3	3.7	3.6	3.6	3.2	3.1	3.4	○正門周辺や体育館裏、中庭の草刈を丁寧に行ってきたので地域の方からは高い評価を得ることができた。	
	2 特別支援教育の充実を図る。														
①学校は、一人一人の子どもを大切に、きめ細かな指導、支援を推進している。	3.6	3.7	3.3	2.9	3.1	3.0	3.5	3.6	3.5	3.3	3.5	3.4	○保護者からは厳しい数値であるが、児童や教師は比較的高い数値である。学校の取組や保護者への説明が十分でないことが考えられるので、今後も丁寧な説明を機会を作って行っていく。	妥当な評価(3.3) 理由 ・北小の特別支援教育の取組をもっと広く伝えていく工夫を行っていくことが大切。	
②学校は、児童理解及びいじめの実態把握に努め、SCや相談員との連携を図り、個に応じた指導の推進を図っている。	3.5	3.4	3.2	2.9	3.1	3.0				3.4	3.7	3.5	3.6		